

MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第19号 2009年3月

もくじ

巻頭言・私たちをご活用下さい	松島 正
2008年度 環境活動指導者研修講座を終えて	中西 由美子
大臣表彰を受けて思うこと	富川 昌美
東京家政大学 環境学習インストラクター養成講座	一條 美智子
ベトナムにおけるJICA-SV(環境管理)報告	泉 浩二
日野市の環境施策について	日野市環境情報センター 加藤 勝康
新会員紹介	澄川 沃・望月 眞



ヒトリシズカ

キブシ

アオイスミレ
中西由美子提供

巻頭言 私たちをご活用下さい

MECC 理事 松島 正

私たち NPO 法人 武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会(略称 MECC)は、多摩地域で環境保全活動に取り組み始めて 10 年になります。

市民部門と事業者部門の環境カウンセラー 30 余名のメンバーが、毎年テーマを決めて活動しています。事業者部門では環境マネジメントシステムであるエコアクション 21(以下 EA21)の普及活動が主流になっています。EA21は、平成 8 年に当時の環境庁が策定した環境活動評価プログラムがベースです。当初は登録届出制でしたから、社会の評価は必ずしも高くありませんでした。その後、移行期間を経て平成 17 年 4 月から認証登録制になり審査体制が整って現在に到っています。登録事業者数は 3,100 に伸びています。

私たちは EA21 中央事務局が主導する「自治体イニシャティブプログラム」では参加した八王子市や町田市を担当し、「関係企業グリーン化プログラム」にもメンバーが参加して、中小事業者の認証取得への普及・支援活動をしています。また多摩地域で武蔵野市や小平市などの自治体が開催する環境セミナーや相談会にも協力してきました。

百年に一度と言われる世界規模の金融危機のなかで、経済の収縮が皮肉にも地球温暖化防止に機能して、環境負荷を低減する効果をもたらしています。産業界とりわけ中小零細企業は苦況に立たされています。

最近「ピンチをチャンスに！」のメッセージを良く耳にします。ここで EA21 認証取得した事業者や、これから取得を考える事業者は発想を転換して、日々の事業活動では多忙で手が付けられなかった職場の 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)への取り組みや、トラブル・クレームを整理して再発防止策の検討や見直しをしたり、想定する緊急事態への対応訓練や従業員への教育とか技術の伝承の機会を作るなど、着手すべきテーマは沢山あります。私たちはこれらのお手伝いもお引受けします。

いっぽう市民部門では、今年度は環境リーダー養成講座の開催、井の頭池の環境保全、子供の環境学習などに取り組みました。是非、私たちの会とメンバーをご活用下さい。

2008年度 環境活動指導者研修講座を終えて

中西 由美子

今年で第2回目を迎えたMECCの環境活動指導者研修講座は、昨年度同様、参加者が少数という苦しいスタートだった。また、実施日が予定よりも1回ずつ後にずれ込んで、調整に手間取った。しかしながら、一方で3名の受講生の方々は皆ユニークな個性にあふれ、また、すでに環境活動を積極的に実施している方ばかりで、それゆえに毎回楽しく充実した講座になったと感謝している。

講座の最終回は1月17日に実施された。この回は、各受講生の活動成果を発表するというものであった。2名の出席だったが、おひとり環境漫談を演じてくれた。この日のために、身近な環境の話題を取材し、15分程度の漫談にまとめてくださった。また、もうお一方は、タイメーカー勤務の方で、勤務先での環境配慮推進活

動について報告をしていただいた。併せて、環境カウンセラー登録へのチャレンジについても語ってくださった。受講生のうちもうお一方は、残念ながら所用のため最後の講座は欠席されたが、生ごみを活かしたコミュニティガーデンを目指す活動に取り組んでおられる方であった。

このような素晴らしい受講生とのやりとりは毎回充実しており、MECCのメンバーも大いに刺激を受けた。2巡目を迎えた本講座は、現地実習として井の頭公園における空芯菜収穫や、環境博覧会見学を取り込み、新たな試みを加えることができた。しかしながら、運営については、改善すべき点多く、見直しも必要という認識を持っている。受講生の募集、講座の内容の詰め、目的の明確化とそれに合ったプログラムの再検討などが必要である。

環境大臣賞表彰

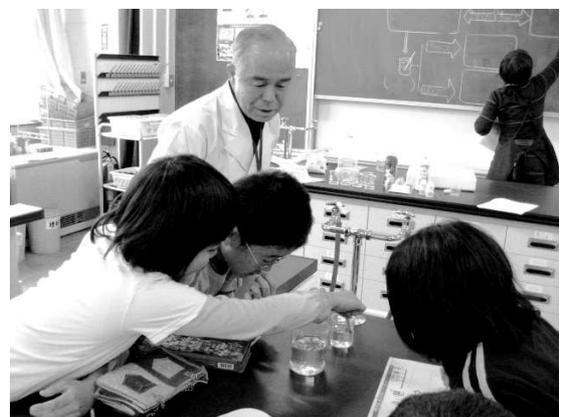
富川 昌美

昨年6月、フロラシオン青山において環境大臣表彰を受けた。平成20年度の環境保全功労者は18名、1団体で、そのうち8名が大学(名誉)教授、病院理事長など教育に携わる人たちであった。私の場合も地域・全国規模でのカウンセラー活動、特にECUにおける環境教育、および武蔵野市における環境行政への寄与(平成19年市長表彰)が評価されたものと推察しているが嬉しい受賞であった。今回の表彰は環境カウンセラー活動に関係しておられる多くの方々の力添えによるものであり、本紙面を借りてお礼申し上げる。

体調不良で休止していた活動を復活させ・しつつあり、20年春「むさしの・こどもエコフォーラム」の立上げ、小学校での正規授業・課外活動、イベントでの活動、大学・諸団体との協働などが漸く態勢を整えつつある。しかし高い視点から見るとカウンセラー活動は多くの未解決の課題を抱えている。一番の問題はカウンセラー自身の「待ちの姿勢」ではあるまいか。ECU時代、全国各地の協議会活動を多く見たが、活動の機会の欠如を全て環境省あるいは自治体の責任とし、自らの能動的な活動不足・研鑽不足を反省することのないカウンセラーの多さに驚かされた。私見では、環境省を含めた社会全般のカウンセラーに対する期待度は益々低下しており、このままではその期待が衰退の一途を辿るのではと憂慮している。

ボランティア活動においてリタイア組が主力を占めるのは世の流れとしても、私自身は現役時代の栄光(?)にしがみついた活動、高飛車な姿勢はしたくないと願っている。

先日、地元の小学校で総合学習の授業を行なったがポリスチレンの溶液にアルコールを加え、白濁してポリスチレンが析出するだけの実験に30人の児童が「ウオー」と声を挙げたのにはこちらが感動させられた。カウンセラーになったときの原点である「使命感」を今更ながら確認した瞬間だった。「地元で根ざし、次世代の人たちに地道な活動を継続すること」、これこそがカウンセラーの王道であると信じている。



武蔵野市立関前南小学校で児童を指導する富川さん

東京家政大学 環境学習インストラクター養成講座

一條 美智子

1月31日、2月1日、東京家政大学において同校環境教育学科の学生等を対象に環境学習インストラクター養成講座が開催され、春休み初日、悪天候にも関わらず47名の参加が得られました。本セミナーは、環境カウンセラー全国連合会が主催、城北環境カウンセラー協議会が共催で、そのうちMECCがワークショップの部分を担当する形で進められました。

1日目午前中、上田理事長、家政大学村上教授他の講話。午後から会場を移し糸井、一條の両名で4時までワークショップを実施しました。「ワークショップとは」「捉え方」「アイスブレイキング」を導入とし、「環境教育におけるプログラムの立て方」を主テーマに、8名×6班でグループ学習を進めました。

女子大生中心で、どのような展開となるかつかみにくく複数方向を想定し準備しましたが、さすが伝統校であり、しかも既に環境に関し深められている事もあって、ワークショップは初めてとのことでしたが、本筋に沿って課題に取り組み、活気ある議論が展開しました。年代を映しチラシのレイアウト等はセンスが溢れ魅力的な仕上がりでした。

2日目は武者氏の講話の後、午後から前日のワークショップ作業を中西も加わり完成させました。班毎に完成資料を提示しての発表と質疑を経て午後3時に終了し、会場を移してから、小林委員長による講評、古里氏からの修了証授与が行われ、セミナーは完了しました。

今回の講座は、環境が正科として教育の場に取り組みられていく状況下、キャンパスでの講座レギュラー化等も含めて、今後の動向を探るものでもあったと思います。筆者の反省としては、不安が現実となって折々に顔を出した感が拭えません。自信を持って臨めるよう、担当者間の事前の共通理解、場を想定したフレキシブルな準備を確実に備えることが必要であると、初心に戻って痛感いたしました。

参加者のニーズに的確に対応し、評価を得るためにも、事後の内容分析表をたたき台に、十分なフィードバックが肝要と考えます。私自身にとりましても貴重な学習の場となり感謝しております。

ベトナムにおけるJICA-SV(環境管理)報告

泉 浩二

1)「グリーン調達とEMS」セミナー・派遣先機関内でのワークショップ実施

ベトナム ハノイにある科学技術省系列の中小企業振興を支援する機関にて、2008年2月中旬から約2ヶ月間活動しました。主な活動は、

セミナー 日本企業との取引を希望するベトナム中小企業向けの品質と環境に関するセミナーで「グリーン調達とEMS」について講演

ワークショップ 主に職員(他に他機関、民間)向けのEMS(特に日本で開発された中小企業向けEMSである「EA21」)の紹介とワークショップ実施

2)「ワークショップ」におけるEA21の紹介

「EA21」の紹介を行い、その中から「環境への負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック」についてそれぞれのチェックリストを用いて実習をしました。また、これらの全般的な負荷・取組チェックの他に省エネルギーへの取組に関する本機関を対象としたチェックリスト例を作成して実習してもらいました。

3)まとめ

滞在中に何回か停電があり、日本では当たり前のようにしている電気の大切さを身近に感じさせられました。たまたま滞在中に「第4回



セミナー風景

エコプロダクツ国際展」が日本の協力のもとで行われ大勢の人が参加したとのことでしたが、環境に関する取組はまだまだこれからのように思われました。

ベトナムはめざましい経済成長をとげつつありますが、先進国の公害経験を他山の石として、環境保全と魅力ある独自文化をもつ、いわば「あるべき第3の道」を目指した国づくりが進められることを期待します。

日野市の環境施策について

日野市環境情報センター 加藤勝康

日野市は、市中央を浅川が流れ北側に多摩川があります。また、南部には多摩丘陵の緑、北部には日野台地崖線の緑と、水と緑の環境と変化に富んだ地形があります。このような自然環境も、昭和30年代に始まる団地造成や開発行為等により大きく変貌しており、市では「緑と清流のあるまちづくり」を進める中で、緑地及び用水路等の保全・整備に取り組んできました。

緑地の保全や用水路の整備に当たっては、市民及び市内の自然保護団体と共に行い、里山としての保全や生態系に配慮した整備を行ってきました。日野市民には、日野は環境が良いので引っ越してきた、という方が数多くいらっしゃいます。

このようなこともあり、1995年に市民の直接請求による「日野市環境基本条例制定」の運動が起こり、議会の採択の後、1999年に「日野市環境基本計画」が策定されました。日野市環境基本計画の策定には、107人の公募市民と市職員がかかわり、市民がまとめた計画として策定されました。この環境基本計画は、2004年に見直しが行われ、平成21年度から第2次環境基本計画策定の準備に入る予定です。

今年度日野市では、地球温暖化対策として、2006

年に策定した日野市地球温暖化対策地域実施計画の一環として、「ふだん着でCO2を減らそう宣言」運動を行っており、市内の7000世帯に宣言をいただくことを目標に取り組みを進めています。

また、環境基本計画を推進する団体である「日野市環境市民会議」と、市内17の小学校に呼びかけ年2回、小学校版1日環境家計簿に取り組んでいます。

昨年12月には、この環境家計簿と共に「キミが考えたエコな暮らしを描いてみよう」という題の絵画を募集しました。全小学校から1452点の作品がよせられ、市役所ロビーに全作品を展示しました。次世代を担う子供たちと一緒に、温暖化について考えていこうというものです。

市では、これらの取り組みにより、市民に温暖化を防ぐための暮らし方を考えていただくと共に、市内に残された良好な環境を市民と協働で保全し、環境学習・自然体験・リクリエーションの場として活用し、持続可能な社会作りを進めていくことを目指しています。

日野市環境情報センターは、環境情報の収集・発信を行うと共に、環境学習の一翼を担っています。

環境カウンセラーの皆様には、今後とも日野市の環境施策の推進についてご協力をお願いいたします。

新会員紹介



武蔵野市在住の澄川沃です。学生時代の専攻は植物生態学でした。社会へのスタートは水処理設備会社で次は建設コンサルタントへと20年あまりを費やし、あるきっかけで、国際協力事業に参加し20年が経ちました。気がつけば第2の人生のスタート。これからは我儘な人間社会の軌道修正と低炭素環境の実現です。それには人間が他の生物同様に我慢をすること、特に子どもたちに自然観察を通じて生態系の構造を学ばせることです。現在、市内の2つのこどもエコクラブのサポーター代表及び東京都環境学習リーダーで、神田川ネットワークと玉川上水ネットに加入しております。私自身環境保全を進めるにはもっと知恵を絞って行動しなければと思っております。今後皆様方のご指導よろしくお願いいたします。



この度入会の望月眞です。赤外線放射温度計が主力の工業用計測機器製造・販売の会社に勤務して約30年。当初自社製品を応用した計測技術提供のコンサルタント業務で、新幹線から廃棄物破碎処理機、風力発電機などの騒音・振動・圧力測定、建設中の発電所で生じる発破振動が野生動物に与える環境影響評価など多種多様な測定で、多少皆様と異なる経験を経ています。その後、会社のISO14001認証取得を期に環境管理部に配属、環境管理責任者となり現在に至ります。この間、環境ISO主任審査員とEA21審査人の資格を得ました。環境カウンセラー登録は2007年ですが、目立った活動もなく2年が過ぎてしまい、今後皆様のご指導を仰ぎながら、経験を生かすカウンセラー活動を行いたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

発行者：NPO武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局
180-0003 武蔵野市吉祥寺南町3-31-16 糸井守
：0422-45-0352 FAX：0422-45-0353
ホームページ：http://www.mecc.or.jp/
編集者：中西由美子